伝統技術と協力業者との信頼関係をベースに 建築全般から太陽光設備まで対応する老舗工務店

◆建築設計・施工・請負・増改築・太陽光施工・基礎・外構エクステリア・土木工事一式
◆産業廃棄物運搬・古物商

company data

建設業許可 群馬県知事許可 第 020589 号
株式会社 秋山建設
群馬県高崎市柴崎町 20-7
URL：http://www.akikenn.com

専務取締役 **秋山 卓宏**

special × interview

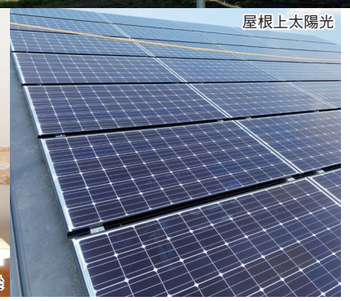
ゲストインタビュアー **大沢 樹生**

東屋

折り上げ小組合天井

野建て太陽光

化粧丸太梁


屋根上太陽光

今後の太陽光発電事業のキーワードとなる「RE100」。「Renewable Energy 100%（再生可能エネルギー 100%）」を略した言葉で、2021 年 10 月時点で世界で 340 社、日本国内では 62 社が、仕事で使う電力を太陽光や風力などの再生可能エネルギーで賄うことを目指す RE100 企業として登録している。RE100 事務局は 2050 年に 100%の実現を目指しているが、日本の環境省も脱炭素社会・カーボンニュートラルの実現に向け、企業の参画を促す様々な取り組みを始めている。官民一体となり RE100 に取り組んでいる今、大きな転換期を迎えている太陽光発電事業。20 年、30 年後の環境や社会をより良くするためにも、秋山社長には、太陽光関連の仕事に携わる経営者として、企業や自治体の取り組みを支えていってもらいたい。

1970 年の創業以来、52 年に亘って地域に根差してきた工務店『秋山建設』。伝統的な日本建築の職人技術を守りつつ運営を続けてきた。さらに近年は時代の変化に合わせて仕事の幅を広げ、建築・太陽光発電設備施工・エクステリアの三本柱で事業を展開している。本日は大沢樹生氏が同社を訪問。柔軟な姿勢で挑戦を続ける秋山専務にお話を伺った。

地域の人々に愛され 50 余年 伝統建築で快適な住空間を提供

――『秋山建設』さんは長年地域に根差してこられた工務店だそうですね。

1970 年に父が創業しまして、事業のさらなる拡大を目指して 2017 年に法人改組しました。ですから今で創業から 52 年、設立からは 5 年になりますね。事業を運営する父の背中を見て育ったので、私も自然な流れで家業に入り、26 年間この仕事を続けてきました。

――すでにベテランでいらっしゃいますね。お父様はどのような方ですか。

何事も突き詰める性格で、非常に拘りが強い職人です。一方で、人を使うのは苦手で（笑）、その点は私とは少し違っていますね。技術力に優れていて、私も父と共にこれまで木にこだわった伝統的な木造建築を数多く手掛けてきました。

――昨今は伝統技術を持つ職人さんが減ってきていますが、御社は確かな技術力も強みの一つなのですね。

例えば施工時は、一本の木から形を作っていくんですが、丸いけれど四角くなる想定で、建物の高さを想像しながら木を加工し、繋いでいきます。木は一本 800kg ほどもありますから、一人で積み出す作業はかなり大変なんですよ。ですが、同じ建物は一つとしてありませんし、やりがいは大きいです。今、当社ではなるべく社員は増やさないようにしており、個人個人が自由に動ける体制にしています。その代わり、協力業者が常時 20 名ほど支えてくれています。

――それだけの人数を束ねるのは大変だと思いますが、協力業者さんとお付き合いしていく上で大切にしていることは？

基本的にはあまり口出ししないようにしています。そうして本人に責任感を持って仕事をしてもらうほうが力を発揮できるだろうと考えているんですよ。私もかつてそうでしたが、事細かに口出しされるよりも放任してもらうことで自分で考える力が身につきました。もちろん万が一、何かあった時には当社が責任を取る形で任せています。

――相手を信頼して任せるのは、大切なことですよね。

ええ。実はかつては騙された経験もありましたが、それでも人を疑わないという自分の性格は変わりませんでした。その点を買ってくださり付いて来てくれる人もいるので、ありがたい限りです。父は今も現役ですが、実質私がトップとして経営を続けていますから、皆が気持ちよく働けるように、しっかりと環境を整えたいですね。

柔軟な対応力で仕事の幅を広げ さらなる成長を目指す

――お父様と経営をバトンタッチされるきっかけは何だったのですか。

約 10 年前、太陽光発電設備の施工を手掛け始めたことが、きっかけになりました。ある経営者から太陽光発電の仕事の依頼をいただいたのですが、ずっと断っていたんです。というのも、それまでの伝統建築からガラリと業容が変わりますから。しかし、目の前に必要としてくださる方がいますし、父も反対しなかったので、とことんやってみようと決意したんです。

――太陽光発電設備の施工に携わってみて、いかがでしたか。

これまでミリ単位の繊細な世界で仕事をしてきましたが、そうした技術力も決して無駄にならないと分かりました。そこからどんどん広がっていき、現在は建築の他、太陽光発電設備施工、エクステリアの三本柱を軸に運営を続けています。お世話になっている経営者からも、「事業柱は複数あったほうが良い」とアドバイスをいただいたので、少しずつ増やしている状況です。

――太陽光関連に着手された以外に、何か今までと変えられたことはありますか。

職人の年齢層を下げることに力を入れています。他にも、以前は当社の経理は母が担当してくれていましたが、法人化をきっかけに、地元で 80 年の歴史がある会計事務所に依頼するようになりました。とても頼りにしていますよ。

――これからがますます楽しみですね！今後についてはどんな展望を描いておられますか。

太陽光に関しては、今後は工場の屋根の上などに設置する RE100 基準の電力供給がメインになってくると思うので、当社も時代に合わせてそちらの施工に切り替えていきたいと考えています。また、私もいつかは年齢的に現場に出ることが難しくなるでしょう。ですから車関係や IT 事業にも興味を持っており、その方面の勉強も始めたいですね。事業拡大に伴い人材育成も今後の課題となっているので、頑張りたいと思います。

――私も応援しています！

（取材／ 2022 年 2 月）

「柔軟な姿勢で仕事の幅を広げておられる『秋山建設』さん。今、太陽光関連事業は人手が足りないほど好調だそうですが、建築事業においても、大手企業ともお付き合いがあるなど、老舗工務店としての信頼が続いています。これからも周囲の期待に応えるお仕事を続けていただきたいですね」大沢 樹生・談

© 2022 KOKUSAI-TSUSHINSHA Co.,Ltd.